

親子で納得 ニュースな経済学

経済ジャーナリスト・内田裕子

日本中、衆議院選挙の報道でにぎやかですね。選挙権のないみなさんはあまり実感がないかもしれませんが、今回の選挙は大人にとって、とても重要なものなのです。これまでずっと日本の政治は自民党中心に行われてきました。自民党のリーダー（総裁）が日本の総理大臣になり、自民党の政治家が大臣をつとめるといのが当たり前日本の政治の風景でした。

ところが、長い間働いた人が年をとって年金がきちんと払われていなかったり、自民党の総理大臣が短い期間でやめてしまったりしたために、国民からの信頼がゆらぎ始めました。そのようななか、2番目に大きな政党が民主党だったので、民主党の政策に関心を持つ人も出てきました。それ

経済に大きな影響を与える政治

で今回の選挙はどちらが勝つのか、こんなに盛り上がったのです。

わたしも選挙活動中からずっと、両党の言うことに注目してきました。なぜかという、政治と経済は切っても切れない、深い関係にあるからです。あえて分かりやすくいしましょう。自民党中心の政治の考え方と、民主党中心の政治の考え方で、一番大きなちがいが見られるのは、税金の使い方です。景気を良くしたり、農業を活発にしようとしたりするとき、自民党中心の政治では経済産業省や農林水産省など、役所を通じて、企業や農業団体に税金を配ってきました。しかし民主党の人たちは、国民にお金を配ればよいと考えています。

また、自民党は子どもの教育のためには、幼児教育費を3年目から無料にしようといってきましたが、民主党は「子ども手当」として家庭に配ろうといっています。子どもの教育のために政府が出す補助金についても、政党によってはこんなに

考え方がちがうのですから、国民の生活への影響は大きいのです。

政党によって日本の政治は大きく変わりますし、経済の発展のしかたも変わります。選挙の結果、どの党が日本にとって良い党なのかは、しばらく時間がたたなければ分からないでしょう。実際にやってみて、選挙活動のときに国民に約束したことが本当に実行されるのか。その効果を確認するまで少し時間が必要でしょう。



政治と経済は深いかわりがあります。空き店舗が目立つ商店街＝北九州市で（写真と本文は関係ありません）

プロフィール 玉川大学芸術学部演劇専攻卒業後、大和証券に入社。2000年に財部誠一事務所に移籍。製造現場の取材や経営者のインタビューなどの仕事をこなす。テレビ出演、執筆、講演活動を通じて経済の情報を伝えている。ウェブサイトは、<http://www.takarabe-hrj.co.jp/uchida/>